

第31回「医療関係者の集い」の開催を終えて

理学部臨床検査技師課程
石原典子（平10・生分）

COVID-19 第7波の影響が残る中ではありましたが、9月17日（土）15時より「新しい生活様式」を取り入れ対面とオンライン（Zoom）のハイブリッド形式にて開催いたしました。臨床検査技師課程の卒業生が主催するこの集いは、卒業生同士の情報交換の場であるとともに現役学生にとっても社会で活躍する先輩方との交流の場でもあります。

講演会では、定年退職を迎えた卒業生として登壇を予定されていた加藤登氏（昭59・生物）が急遽欠席されるハプニングに見舞われましたが、ピンチヒッターを務められた伊藤展枝先生（昭53・化学）が昔の思い出話を交えながら、後輩達へのメッセージを代弁してくださいました。続いて、各職種の魅力～若手の立場から考えるこれからの臨床検査～をテーマに寒河江望氏（平25・生物）と清水康平氏（平24・化学）にお話し頂きました。企業と病院、それぞれの立場で活躍される先輩方の講演は、在校生にとって大きな希望となったことと思います。また、今回の集いをもって医療関係者の集い幹事長の役職を清水さんから北村浩一氏（平25・化学）へ引継ぎとなり、おふたりよりご挨拶を頂きました。

第二部では、来校して頂いた卒業生と在校生との懇談の場を設けさせて頂きました。将来を想像し事前に質問を準備して参加した在校生や、謙遜しながらも自身の体験を語り激励して下さる卒業生、久々に来校されて大学の外観に驚かれる姿もみられ、それぞれの方にとって実りある集いとなったことを嬉しく思います。

今回の集いには、対面42名（在校生、卒業生それぞれ21名）、オンライン約50名の方にご参加頂きました。参加された皆様および共催して下さった理学部鶴風会にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

